てんさこ新聞

'16.8 No.230
発行責任 市岡
0883-88-52

山々も変ってく

当然、なんだろうよ

毎週、二日間は、国有林の中を歩いてる（仕事として）とはいえ、七月は、三回も「登山」をしました。二回は、三嶺を守る会の会員の皆さんと、調査で登ったり、登山道の補修に同行したりです。いずれも天候にめぐまれ、とはない面もありましたが、目的を十分果すことが出来ました。ここ数年は、鹿の食害もあり笹がなくなり、下草がほとんど見えず、どこでも歩き易くなっていて、行く度に道が増えている様です。いいのか悪いのか、よくわかりませんが、これも最近の「トラブル」の原因の一つではないだろうか。見通しはきくし、歩き易いので、ちょっと横道にそれてしまう様です。トラブッても自力で「本道」にもどれればいいのですが、すぐにケイタイで連絡するものですから……。　迎えとすれば対応せざるをえません。　弱ったものです。

〜 3枚とも 三嶺です 〜

また、久々に長時間の山歩きをしたのですが、尾根すじでは、多くの木が枯れ、倒木と化しているのが、いっぱいです。

で、今までは見通せなかった景色が見えたりして、ビックリです。また、ススキが多くなってるのも気になりました。これも気温のせいでしょうか。また、今まで見たこともない様な光景にも出合ったりして、新鮮味はありましたが、何か気にはなりました。

いずれも、自然現象です。気温が高くなれば、今まで育たなかった植物が根ずいたり、いなかった生物が見つかったりするのは、当然といえば当然です。

昨年と同じではありえないのですから、十年たてば、大きく変化している事もあるでしょう。　とはおもいます。

人が行く所にゴミがあり、人が集まれば、大きく変っていく。

今までもそうであった様に、これからも、ただ急激に変化するかどうかは違ってくるけれど、変わり続けていくのでしょう。

誰かが何んと言おうとも!!　いとおかしいなあ